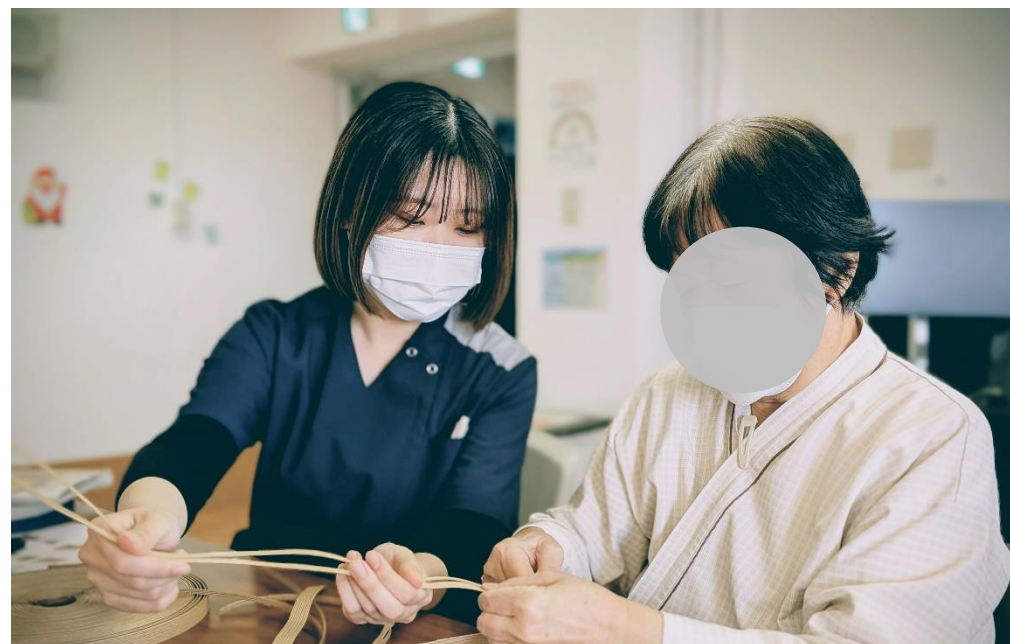




日々の臨床では、患者さんの個性に合わせた作業療法を提供するために、POS 関係なく先輩に質問して自分ができることを少しずつ増やしています。患者さんともたくさん話して、その人の思いに寄り添える作業療法士を目指しています。

地域に求められる 作業療法士を目指して。

母の影響で医療職に興味がありました。それまで学んだことを活かせる職業だと思い、作業療法士を目指すことにしました。就職先に迷いましたが、長期実習で自動車運転の再獲得に困った患者さんを担当したことがありました。また、色々な疾患を経験したかったので、2つが実現できる霧島記念病院を選びました。





作業療法士を取得したいという目標ができました。
ゆっくりでも確実に経験を積んでいける環境なので、自分のペースで成長していきたいです。有給休暇のほかにリフレッシュ休暇もあるので、キャリアアップやプライベートを充実させることに利用しています。

目の前のタスクをこなして、 一步步成長。

はじめてのことばかりで、書類や業務の手順など覚えることが多く苦勞することがあります。どの先輩も一つひとつ教えてくれるので、1年目でも困ることはありません。霧島記念病院は、中枢疾患や運転シミュレーター、それと回復期を経験できることに惹かれ就職を決めました。いまは、作業療法士協会の5年間の研修を頑張っ、認定

